



幸区の花 ヤマズキ

かくせんもんぶかい 各専門部会の



幸区の木 ハナズキ

ちょうさしんぎじょうきょう ほうこく 調査審議状況の報告

1

ひと こうつうあんぜんぶかい 人にやさしい交通安全部会

ちょうさしんぎじょうきょう 調査審議状況

- 1 ぶかい かいさいじょうきょう
部会の開催状況
- 2 せいふくぶかいちょう せんしゅつ
正副部会長の選出
- 3 しんぎてーま せんてい
審議テーマの選定
- 4 しんぎてーま かか く とりくみ ちょうさ
審議テーマに係る区の取組の調査
- 5 こんご とりくみ ほうこうせい しんぎ
今後の取組の方向性についての審議
- 6 ぶかいめい
部会名について

2

1 部会の開催状況

(1)第1回《平成28年9月27日(火)、委員11名出席》

- ・正副部会長の選出
- ・審議テーマの選定
- ・部会名の検討

(2)第2回《平成28年10月20日(木)、委員11名出席》

- ・審議テーマに係る区の取組の調査
- ・今後の取組の方向性についての審議
- ・部会名について

3

2 正副部会長の選出

◎部会長：阿部 法弘 委員



◎副部会長：小野 晴子 委員



4

3-1 審議テーマの選定

○次の4つの審議テーマ候補案から絞り込みを実施

(1)生活環境面でのバリアフリーの推進

高齢者や障害者などにやさしいまちづくり

歩道環境や区内施設利用におけるバリアフリー化の推進

(2)交通安全対策の推進

高齢者や障害者などにもやさしい道路交通環境の整備

携帯電話・イヤホンを使用しながらの運転などの防止

(3)地域防災活動の推進・地域防犯力の向上

災害に備えた地域単位での防災活動の推進

隣接区との連携による地域防犯力の向上

(4)地域におけるエコ活動の推進

エコ活動や区内の緑化推進

5

3-2 審議テーマの選定

◎「交通安全対策の推進」に決定

《委員の主な意見》

- ・自転車は第1期からの検討テーマであるが、自転車に限らず、広く区民に向けて、交通マナーやルールを周知する取組が必要ではないか。
- ・夜間、道の段差で転びそうになったことがある。高齢者や障害者などにもやさしいユニバーサルデザインの推進について、検討を行ってはどうか。
- ・交通マナーやルールを周知するソフト面と、道路交通環境の改善を図るハード面の両方から、交通安全に関する幅広い事項について検討を行ってはどうか。

6

4 審議テーマに係る区の取組の調査

◎区役所危機管理担当及び道路公園センターに確認

- (1) 各季における交通安全キャンペーンなどの実施
- (2) 交通安全教室の実施
- (3) 清掃車を活用した自転車ルール順守の呼びかけ
- (4) 交通安全ビデオの貸出
- (5) 川崎フロンターレと協働で実施する交通安全活動
- (6) 道路交通環境の整備



交通安全キャンペーン



スケアード・ストリート方式の交通安全教室



注意喚起路面標示の新設

7

5 今後の取組の方向性についての審議

- (1) 様々な立場の人が区内道路で危険と感じている箇所の調査
- (2) 様々な立場の人を対象とした分かりやすい交通マナー、ルールの周知や意識啓発の方法の検討

《委員の主な意見》

- ・交通事故にはいろいろなタイプがある。安全対策について、幅広い視点で考えていきたい。
- ・高齢者や障害者や子育て世帯など、それぞれの立場によって、ヒヤリ・ハットを感じる箇所は違うのではないかな。
- ・注意喚起の看板などは、日本語表記だけでなく、イラストなどで表示すると、子どもや外国人なども不自由を感じなくなるのではないかな。

8

ひと こう ふう あん ぜん ぶ かい
◎人にやさしい交通安全部会



9

みりよくはっしん かつせいかぶかい
魅力発信でつなぐ まちの活性化部会
ちようさし ん ぎじょうきよう
調査審議状況

- 1 ぶ かい かいさいじょうきよう
部会の開催状況
- 2 せい ふくぶかいちょう せんしゆつ
正副部会長の選出
- 3 しんぎ て ー ま せんてい
審議テーマの選定
- 4 しんぎ て ー ま かか とりくみ ちようさ
審議テーマに係る取組の調査
- 5 こんご とりくみ ほうこうせい しんぎ
今後の取組の方向性についての審議
- 6 ぶかいめい
部会名について

10

1 部会の開催状況

(1) 第1回《平成28年10月5日(水)、委員8名出席》

- ・正副部会長の選出
- ・審議テーマの選定
- ・部会名の検討

(2) 第2回《平成28年10月27日(木)、委員7名出席》

- ・審議テーマに係る取組の調査
- ・今後の取組の方向性についての審議
- ・部会名について

11

2 正副部会長の選出

◎部会長：神谷 修 委員



◎副部会長：阿部 稔子 委員



12

3-1 審議テーマの選定

○次の3つの審議テーマ候補案から絞り込みを実施

(1)地域の魅力発信

- ・幸区の魅力をアピールして、情報発信力を強化
- ・地域の観光や商業資源を活かした街の活性化の促進

(2)地域コミュニティの活性化

- ・地域コミュニティの連携強化及び活性化
- ・異世代間交流の促進

(3)総合的な子ども支援

- ・小中高の児童・生徒及びその保護者の見守りと支援
- ・子育てのしやすさの促進

13

3-2 審議テーマの選定

◎「地域の魅力発信」に決定

《委員の主な意見》

- ・子どもの支援など、いずれのテーマも根本では魅力発信とつながってくると思う。
- ・重要なことは様々な地域の魅力を発信していくということであり、「どの分野を発信」と限定して考えることではないのではないか。大きなテーマとしては魅力発信として、その中身については今絞る必要はないだろう。
- ・また、魅力発信の目的や「何が魅力なのか」を適切に検討しなくては、単にPRをしただけで終わってしまうのではないか。

14

4 審議テーマに係る取組の調査

(1)幸区内の主な取組事例

ア 地域の魅力発信事業(夢見ヶ崎公園魅力発信事業)

イ 御幸公園梅香事業

ウ ミューザ川崎シンフォニーホールで開催する
「さいわいハナミズキコンサート」

エ 幸区ご近所支え愛モデル事業



世界有数の音響性能を誇るホール

(2)他都市等の主な取組事例

ア 子育て世代をターゲットにしたキャッチコピーで周知(千葉県流山市)

イ スポーツコミッションによるスポーツを活用したまちづくりや地域づくりの推進(島根県出雲市「たびーら縁結びライド」)



子育て世代をターゲットにしたキャッチコピー

15

5 今後の取組の方向性についての審議

(1)幸区の魅力となる地域資源の調査

(2)対象を意識した効果的な情報発信手段の検討

《委員の主な意見》

- ・区内でたくさんの取組を行っているが、あまり知られていないのではないか。取組を知ってもらい、その魅力をより高めていくべきだと思う。
- ・効果的にPRするためには、ターゲットを絞るべきだと思う。
- ・若い世代に向けて「幸区はこんなに楽しい区」、「住み続けられる区」であることをPRしてはどうか。
- ・幸区は「暮らしやすい区」と言える。交通の便が良く、商業や医療も充実しているなど、便利である。それを発信してはどうか。

16

6 ^{ぶかいめい}部会名について

^{み りよく はっしん} ◎魅力発信でつなぐ ^{かっせい か ぶ かい} まちの活性化部会

